

H24 マヒドン大学短期語学留学

評価・報告

参加者 15 名、回答数 15 名

5 : とても良かった 4 : 良かった 3 : どちらともいえない 2 : 良くなかった 1 : 全く良くなかった

■ 短期留学全体の総括

評価	5	4	3	2	1
回答数	13	2			

<感想>

- ・ 2週間があつという間に感じるくらいに、非常に充実した2週間を過ごすことができました。タイの学生は非常に親切で、毎日のようにわたしたちの行いたいアクティビティをできるように手配してもらい、楽しいひと時を過ごせました。
- ・ 東南アジアを台頭して急成長するタイのもつエネルギーはもちろんのこと、日本との様々な文化の違いを授業、買い物、フィールド学習などを通して享受し、非常に刺激のかつ濃い2週間を送ることができた。またマヒドン大チューターとの交流も充実していて、日常の何気ない会話から宗教分野まで話せたことは本当にこのプログラムのおかげだと考えている。
- ・ 言葉では表しきれないほど本当によいプログラムだった。新しい友達、新しい体験、新しい気持ち、いろんな新しいものを得ることができた2週間だった。このプログラムで関わったすべての人たちとこれからもよい関係を持ち続けていきたい。そして必ずまたタイに行きたい！と強く思う。
- ・ このプログラムは、タイ語の授業・フィールドトリップ・タイの文化体験など内容がとて充実しており、素晴らしい2週間を過ごすことができた。そして何よりも同世代のタイの学生と交流できるのが魅力である。英語が通じない・聞き取れないことで苦労したことも多かったが、彼らと同じ時間を共有し、普通の旅行では味わえない貴重な体験をすることができた。スケジュールも無理なく組まれており、誰もが楽しめるプログラムだと思う。
- ・ 今まで海外に出たことが高校の修学旅行でしかなく、実際に現地の人と深くかかわることが出来たのはこのプログラムが初めてでした。日本とは違う文化、風習を肌で実感することが出来たとてよかったです。
- ・ 日本に帰国した今、プログラム全体を振り返ってみると非常に満足のいくものだったとしか言いようがない。個人的にはこれ以上ない程に充実したもので、多くの学び、多くの文化体験、そして多くの交友関係を得ることが出来たと思う。プログラムを終了した直後なのに、もし機会があればもう一度このプログラムに参加したいと思えるくらい。
- ・ マヒドン大学全体やその学生が、十分すぎるといっても良いほど手厚く歓迎してくれて、初めての海外留学であった自分にとって、海外への印象を作る上でも素晴らしいプログラムであったと思います。これを言い出すときりが無いのですが、強いて言うなら、あと一週間ほど長くしていただけると、より現地の学生との深い関わり合いや、タイ語の実践的な利用もできたのではないかと思います。ただ、そういった細かい点が気にならないほど素晴らしいプログラムでした。

- 本プログラムの2週間、毎日新しい人、場所、モノと出会い、一生の思い出に残る2週間を過ごせました。タイの学生との交流もたくさんでき、日本に帰ってから連絡を取り合うほど仲良くなれました。タイという国を2週間、思いっきり満喫できる最高のプログラムだと思います。
- プログラム全体についての印象、そしてそこで得られたものから考えると5を付けたところではあるが、下に数点意見を述べているので4とする。タイ語表現を沢山学べたし、プログラムタイトル通り、現地でしかできない事を数多く体験できた。実際に見なければ解らないことも多い。MU側、スタッフ、そしてチューターの対応が非常に手厚く、驚くほどであった。何よりも、現地の友人ができた事がかけがえのない財産である。
- とにかくタイの学生達が親切なのに驚いた。常に日本人だけで行動することがないように気を配ってくれたし、日本人のわがままにも出来る限りこたえようとしてくれたり、午後のあいた時間も、常になにかしら楽しめるように企画してくれたり、本当に皆親切だった。ここまで充実した二週間は、タイの学生の助けなしにはありえなかったと思う。午前の授業と、それ以外の活動とのメリハリもしっかりついていたり、充実した二週間をおくることができた。ただ、今回はタイの学生が手伝ってくれたため、午後の空いた時間も、様々な場所に行ったりと、有意義に過ごすことができたが、実際3時くらいに終わってしまう活動も多く、もったいないような気がした。毎日ではないが、たまには夜まで活用した活動があってもいいように感じた。
- 奨学金をもらってタイに行って、しかも単位がもらえるというこのプログラムは正直とてもお得で、プログラム自体は大満足の内容でした。マヒドン大学の学生との交流もたくさんあり、自分の語学力に対してのやる気を起こしてくれたのも大きな収穫であった。2週間という期間も、初めて学ぶタイ語を学ぶ中で疲れも出ず、タイを満喫する期間としては最適であったように思う。
- タイ語の習得はもちろん、タイの文化の理解や、タイ人の学生との交流をすることができよかった。多くの教員・学生の協力があつたからこそ実施することのできたプログラムなのだということがわかり、感謝するばかりである。
- 私はこのプログラムに参加して本当によかったと思っています。私にとっては初めての海外でした。タイでみた光景、出会った人、その全てが新鮮なものでした。そしてこう思えるのもタイ側のすばらしい受け入れ態勢があつたからだと確信しています。何につけても本当にありがたい対応をしていただきました。そのおかげでタイの言語の習得や文化の理解、そして異文化というものがどういうものなのか、そしてタイをみることで日本がどの位置にあるのか、どのようにみられているのか、日本人としての自分はどのような者なのかを考えるととてもよい機会になりました。これらすべての疑問に明確な答えは見つかっていませんが、このプログラムを最初のきっかけとしてこれからも考えていきます。
- タイ語の学習を通して、タイ人だけでなく日本人とのつながりをも得ることができた本当に有意義な時間を過ごすことが出来た。一生に一度かもしれないこの出会いをこれからも大切にしようと思うとともに、この出会いから本当に多くの刺激をいただいた。
- 毎日が充実していてあつという間の二週間だった。感謝してもきれないくらいマヒドン大学の学生が私たちの世話をしてくれたので、何不自由なく過ごせた。また日本人のメンバーも皆意識が高く、思いやりのある人達だったので、皆でこの楽しい時間を共有できて本当に良かったと思っている。

■ タイ語の授業全体

評価	5	4	3	2	1
回答数	9	6			

<感想>

- 先生は日本語堪能で、そして日本語の理解に富んでおられたので、非常に深い質問をすることができました。プレゼンテーションなどで忙しいと分かってくださり、なるべくテスト勉強をしなくてもいいような配慮をしてくれる優しい先生でした。
- 実用性の高い表現を楽しく学べたという点で非常に良かったと思う。また講師との双方性がある授業だったので生徒の理解度をその都度考えながら進行され、全体としていい雰囲気であった。
- タイ語の授業は全体を通してとてもわかりやすかった。先生が日本語を話せるから安心して質問できた。最初はスピードが早く感じることもあったが、徐々に慣れてきて、使い方を教えたなら速攻で全員に例文を作らせるという先生の得意技(笑)も今思えばすごく実践的な練習だったと思う。時間も午前中だけなので集中が続きやすかったと思う。ただ、前の晩寝不足だとけっこうきついので、体調を考慮しつつ自分でその日の活動を制限することも大切だと思った。
- 1日中ではなく、午前中だけの授業なので、やる気を持続したまま授業を受けることができた。先生はとても優しく、日本語も話せる方だったので、わからないことも質問しやすく、学びやすい環境であった。タイの学生との会話や買い物などでタイ語を実践できるように、よく使う単語やフレーズも先生が考えて下さり、実践することができた。
- タイ語の授業ではわからない単語や前に出て忘れてしまったような表現でも何度も丁寧に教えてもらうことが出来てよかったです。チュティマー先生大好きです。
- 日本での集中講義でも、現地の大学での講義でも共に素晴らしい先生に指導していただくことが出来、とても楽しく充実した授業だったと思う。授業内容は勿論、先生たちの人間性に惹かれる部分も多かった。どんなものであれ、やはり初めて学ぶもの刺激的で、2年前期の休みボケで腐りかけていた自分の脳みそをいい具合に活性化してくれたと思う。
- 限られた期間の中で、とてもちょうど良いペースで授業を進めていただき、勉強しやすかったです。ただ、タイの学生との間では、英語による会話が多く、タイ語を実際に会話手段として利用するという事はほとんどありませんでした。個人的な反省としては、タイにくる前にもう少し生活の中で役立つタイ語を覚えてくるべきだったというのがあります。宿題として集中講義のあとに実践会話の暗記ぐらいはさせてもいいかもしれません。例えば食堂において、タクシーにおいてどう喋ればよいかなどです。
- 授業では、生活の中で使えるフレーズばかりを教えていただけだったので、授業後すぐに実際に使え、楽しく勉強できました。
- タイ人の講師による授業だったので、最初から正しい発音で話すようになり意識させられた。発音に関してはネイティブに勝る人はいないと思うので、この点が受講した中でもっともよかった点だと思う。授業の進行ペースも程良かった。授業中に生じた疑問にも聞けば必ず例を挙げて丁寧に答えてくれた。講師も次第に学生一人一人のキャラクターが分かってくるので、8日間同一の講師で良かったと思う。
- 授業自体はとてもよかったが、自分が日々の活動の疲れからか、よく授業中寝てしまったのが、反省点である。
- 日本とタイの2回にわたってタイ語の授業を行ったが、日本でタイ語の授業をするときにタイで巡る土地の文化や博物館などに行く前に知っておいた方がよいタイの歴史とかも学べると良かったと思う。授業内容としては、その日から実践できるタイ語を

中心に教えてもらったので買い物をするときなどに役立てることができた。

- 日常生活ですぐに使えるような表現の学習が中心だったので、タイ人学生との会話や、お店でのやりとりを通して身につけることができた。双方性のある授業で、疑問に思ったことを先生に質問できてよかった。また、習ったことを声に出しながら学んでいたことで、知識としてだけでなく、実際にしゃべる場面でも使うことができた。日本の英語教育でももっと **speaking** の時間を増やしたらいいのにと感じた。また、タイ語でのプレゼンテーションを経験したことで自信が付き、タイ語をしゃべることに対する抵抗があまりなくなった。
- タイ語の習得は難しいということをも身をもって体験しました。声調が違うだけで全く理解してもらえない。聞き取ることも伝えることも難しい。しかし、Wipa 先生 Chitima 先生のおかげでタイ語の勉強が楽しいと思え、また日常会話を理解することもできました。ありがとうございました。
- すぐに日常生活で使えるタイ語を教えてくださいましたので、市場や食堂において一人で頼まなければいけない時などに応用がきくような例文をたくさん教えてくださいましたために、本当にありがたかった。それ以外にもタイ人の当たり前などを教えてくださいましたのは大変興味深かった。
- タイ語の担当だったチュティマ先生は、私たちの理解度に合わせて授業を遅らせて進めてくれたし、毎回の授業の最初では前日に習った表現の復習をしてくれたので、とても効率の良い学習となった。

■ Field Visit 全体

評価	5	4	3	2	1	未回答
回答数	2	7	5			1

<感想>

- どの活動も非常に楽しかったです。しかし、最初は何を目的としているのか分からなかったところが多かったので、前もって事前学習する機会があればなおよいと思いました。
- 国立博物館、サイアムミュージアムなどタイに根付く仏教、文化を学ぶことができる施設を回れたことは非常によかったが、ワットポー、ワットプラケーウなどの主だった寺院見学が予定に組まれていなかったことが少し残念だった。またフリーデイに自分たちが企画するとなるとチューターの負担増にもつながるので自由時間を少し減らしてでもあらかじめ決めておいた方がいいと思った。
- いろんな **market** や **museum** に行かせていただいた。**market** ではタイの人たちの日常生活を垣間見ることができて、その活気にこっちも元気になれた。またタイならではの食品などがたくさんあって、試食できたりもしたのでとてもいい体験になった。**museum** では仏教やタイの歴史、重要文化財などにふれることができた。とくに **siam museum** は模型などがたくさんあって、写真をとるのもってこいのとても楽しい場所だった。だがみんなで写真を撮るのばかり楽しすぎて実際のタイの歴史の深いところなどを勉強しなかったのはいけなかったなあと反省している。
- 午前中は授業、午後は **Field Visit** で、メリハリをつけて活動できた。タイの代表的な寺・宮殿を見ることができ、そのスケールの大きさに驚いた。日本と比較してみると様々な違いを発見でき、面白いと思う。アユタヤの古代の遺跡見学は去年のプログラムで組み込まれていたようだが、今年はないようで少々残念だった。
- バンコクにある国際博物館ではボランティアの案内の方がついてくださり、タイの学

生や自分たちで見るだけでは得られなかったであろうことを知ることが出来ました。ドンウェイマーケットやフラワーマーケットなどではマーケットの品だけでなく学校などタイの人たちの生活を見ることが出来て良かったです。

- 全ての Field Visit がタイの文化を学ぶ上で有効な手段だったと思う。マーケットを訪れることは現地の人々の素の生活を肌で感じることに繋がるし、ミュージアムを訪れることでタイという国家の形成から、仏教文化がどのような過程を経て今に至るかというタイの歴史的側面を自分の目で見ながら学習することが出来た。ただ一つ個人的に残念だったのが、世界遺産の宝庫であるアユタヤを訪れることが出来なかったという点だ。
- 時間も十分に用意されており、一回のフィールドトリップで時間が不足するなどといったことがなかったのは良かったです。ただ、アユタヤにも行ってみたいかったという思いはあります。様々な事情を考慮した上で場所が決まったとは思いますが、もし可能であるのなら、フリーデイのような学生のその場での意見を取り入れたフィールドトリップがもう少し増えるといいと思いました。
- 博物館やマーケットなど様々なところを訪問し、タイの歴史やタイの人々の生活の様子を直接感じられてよかったです。訪問先に行く前に、自分でどのようなところなのか調べ、そこを訪問する目的を自分なりに考えてから行ったほうがより得るものが多かったであろうと思いました。
- 国立博物館ではタイ建国以前の仏像から伝統工芸品まで貴重なものが多数見られて良かった。しかし、翌日訪れたミュージアム・オブ・サイアムは楽しくタイの歴史が学べたもののあまり訪れる意味はなかったと思う。フィールド・トリップの行先に寺院や水上マーケットなどを追加し、訪問地のバリエーションを増やした方が良い。また個人的な反省として、訪問前にその概要を頭に入れておくべきだった。
- 市場に行ったり、寺院に行ったりと、タイ人の日常生活がうかがい知ることができて良かった。タイ人の学生達が常に付き添ってくれていたため、リアルな日常を体験でき、とてもいい経験になった。また、博物館や、元首相の家なども、タイの伝統的な文化や歴史を、ビジュアル的に学べたので、良かった。博物館では、ガイドの方が常に説明して下さったのも、嬉しかった。タイの歴史などを学んだあとだったらもっと楽しめただろうな、と感じた。サイアムミュージアムは、タイの文化などが、精密に展示してあって、あの一日で、タイの文化についての知識がかなり深まったと思う。ただ、去年は行ったという、アユタヤや、水上マーケットに行けなかったのが、非常に残念だった。
- すでに上記しているが、博物館に 2 か所も行ったのにタイの歴史を知っておけばもっと深い見学活動ができたのではないかという思いがあり、自分で勉強してから行けばよかったと悔しく思っている。せっかくワットプラケオの隣に来ておきながら見に行かなかったのはもったいなかったのも、来年はワットプラケオの見学をスケジュールに入れてほしいと思う。
- 初めてタイのマーケットを訪れ、日本との違いを感じた。調理された食べ物が大きなボールに入れられ、そのまま売られているのには驚いた。鳥の丸焼きがたくさん並んでいたり、トゲトゲのドリアンが山積みになっていたり、日本では見られない光景が広がっていた。また、屋台で食べた食事の中には涙が出るほど辛く、食べられないものもあり、食文化の違いも目の当たりにした。
- タイのことについて少しの知識しか持っていない私にとって、プログラム内容として様々なところへ連れて行ってもらえてよかったです。自分たちで調べるにしても、2週間という短い期間では困難なものだからです。ただ国立博物館に行った際、わたしたち日本人学生はそこで写真の撮影会のような雰囲気ですごく騒いでしまい、そのことが少し気になる場所です。また、その日行く場所がどこにあり、どのような場所なのかを調べる最低限の情報の提示はしていただきたいです。

- ・ ただ単にタイに行くだけでは絶対に訪れないであろう場所をいくつも訪れることが出来て本当に良い機会を体験することが出来た。ブッダに関する興味深い逸話などをタイに住んでボランティアとしてガイドをしてくださった方々からお聞きしたり、その他にも数々の貴重な体験をすることができた。
- ・ 去年のプログラムに参加した人の感想からワットプラケオや水上マーケットなどは **Field Visit** で行けるものだと思っていたが、今年からプランが変わっていた関係で、博物館や首相の家といった観光というよりも勉強目的な訪問が多かった。これが不満というわけではないが、タイらしいところあまり行けなかったのは正直残念だった。

■ Field Visit 以外の課外活動全体

評価	5	4	3	2	1	未回答
回答数	9	5				1

<感想>

- ・ タイの学生は、わたしたちの興味のあるアクティビティをかなえてくれようと努めてくれていたし、なるべく負担の少ないように入場料などの交渉をしてくれました。泊りがけでの旅行はできなかったですが、それでも非常に楽しむことができました。
- ・ タイ料理、花輪作り、タイダンスのどれもが日本では経験できないようなものばかりで刺激的でタイの文化理解に貢献した。どれもこれからは続けていくべきであると考える。
- ・ **Freeday** を使ってタイの人たちに、土曜日は象やワニを見られる動物園（名前を忘れてしまった…）、日曜日はワットポーとワットプラケオに連れて行ってもらった。**Freeday** は本当に本当に楽しかった。動物園では象に乗ることができたのが1番うれしかった。思ったよりも高くてちょっと怖かったけど、まるで天国にいるような幸せな気分を味わうことができた。象には乗るべき！（笑）ワット系では、ワットプラケオの豪華さに圧倒された。黄金に輝く建物、細かな装飾、とにかく綺麗だったの一言に尽きる。また、タイ式のマッサージにも二度くらい行かせてもらった。わたしはけっこう痛かったが、それでもとても気持ち良かった。他の人もとても満足していたのでおすすめである。
- ・ タイの料理や、お菓子作り、ダンスなどに挑戦し、ただ見学するのではなく、実際に体を動かしてタイの文化体験ができた。タイの学生もアシスタントとして入ってくれたため、楽しみながら活動でき、非常に有意義な時間だった。
- ・ タイのダンスではダンスを習っていたというタイの学生さんが参加してくださり、楽しかったです。あっという間に時間が過ぎてしまい、もう少し時間が欲しかったと思いました。料理はコックさんがパフォーマンスをしてくださり、自分の作ったものは美味しくない！という考えを持つ私ですが、おいしかったです。後でレシピを聞いておけばよかったと後悔しました。
- ・ とにかく楽しかった！授業が終わると、毎晩毎晩マヒドン大学の学生が自分たちを大学の外に連れ出してくれて、色々な場所に連れて行ってくれた。これが楽しみで毎日3時間の授業、期末試験、プレゼンテーションを乗り切れたと言っても過言ではない。マヒドン大学の学生たちも毎日授業が忙しい中で、合間を縫って自分たちに会いに来てくれて、彼らには本当に感謝してもし切れない。
- ・ フィールドトリップがだいたい終わるのが4時から5時という時間で、その時間からまた大学の周りをうろついたり、マッサージに行ったりする時間が多かったのが良かったです。反省としては、プレゼンの準備を日本にいる間にもう少ししておけば良か

ったということです。せっかくの課外時間をパソコンと向き合って過ごすというのは少しもったいないので、来年行く人には、英語でのプレゼンに関しては準備してから行くのを勧めます。

- ・ タイの踊り、料理作りなど自分が参加して体験できる貴重な活動ができました。タイの料理、食事については歴史、食事マナーなどを踏まえた説明があり、とても良かったです。タイの踊りについても、歴史などの解説があるとよかったです。
- ・ お菓子作り、花輪作り、タイダンス、タイ料理、いずれの授業にもその道のプロを講師に招いてあったので、玄人の技術を間近で見られた。花輪作り、タイダンスでは、その準備と指導にチューターも関わってくれたので、大変有り難く思う。料理についてはマヒドンの学生にも初めて作った、知ったという人がいて、どちらの学生にとってもタイの伝統文化を知る良い機会になったと思う。
- ・ 料理作りやお菓子作り、ダンスなど、どれもタイ人の学生が手伝ってくれたため、とても楽しかった。特にタイ料理作りでは、直前にタイ料理について詳しく説明してくれたり、作った料理もかなり本格的だったりと、とてもいい体験だった。
- ・ タイの生徒がいつも一緒に行動してくれたおかげで危ないこともなく、たくさんの活動を行うことができた。しかし、日本人がやりたいことがたくさんあってタイの学生を振り回してしまった面もあったので反省する面もある。タイの学生がどのような生活をしているのかがわかったとても良かった。
- ・ タイ人の学生と交流できたことが一番の収穫であった。タイのお菓子や料理づくりのアクティビティーでは、タイ料理の特徴をすることができた。タイ料理には、辛さ・甘さ・酸っぱさを組み合わせた味付けが多かった。タイダンスのクラスではみんなで一つのダンスを作り上げるという一体感の中で、タイ人とも日本人とも仲を深めることができた。
- ・ 土曜日、日曜日は **FreeDay** であったので、その機会を通して様々な場所を訪れました。象にのり、ワニのショーを見、またワット・プラケオやワット・ポーを訪れました。ただ、他にも行きたい場所がありました。プラヤの海や、水上マーケットです。そのためにワットや水上マーケットの主な場所へは **FieldVisit** の内容に含まれていてほしかった。
- ・ タイの学生には本当にお世話になった。彼らに連れて行ってもらった多くの場所は、タイの学生の普段行くような場所ばかりで彼らの普段の生活が見えるようで本当に興味深かった。中でも一番印象に残っているのは、夜に連れて行ってもらったごはんは本当に美味しいものばかりでとても満足するものだった。
- ・ お菓子作りや料理作り体験、タイダンスなど、旅行で行っただけでは体験できない貴重なことを体験できたのでとても良かった。自分自身にとって良い経験にもなったし、活動を通じてタイの学生とたくさんのコミュニケーションが取れたのもとても良かった。

■ タイでの生活、寮での生活

評価	5	4	3	2	1
回答数	7	8			

<感想>

- ・ 寮は、毎日清掃があり清潔な状態が確保され、さらに水を支給してくれるなど、至れり尽くせりのサービスでした。ただ、共同生活ともなると、一人ひとりの活動時間の違いが、お互いのストレスになることもありました。

- 毎日ベッドメイキングと洗いたてのバスタオルが部屋に用意されており、寮の前には24時間警備員さんがついてくれたので待遇は十分すぎるものであった。日常でも基本的な海外での生活を想定しておれば何も不自由なく過ごすことができた。
- 冷蔵庫の中に水は支給されているし、ベッドもシャワーもあってとても整っていた。しかし、時々シャワーから水しか出なかったり、外から部屋、トイレ、シャワールームまで床が続いていて、ちょっと汚く感じたりすることもあった。でも慣れると大丈夫！
- シャワーのお湯が出なかったり、トイレの水がすぐに詰まったりしたのを除けば快適な寮生活であった。共同冷蔵庫にもほとんど毎日ミネラルウォーターが補充されており、とても助かった。大学内にはコンビニや食堂がたくさんあり、食べ物に不自由することは一切なかった。タイには蚊が非常に多いため、虫除けスプレーやムヒなどの薬を持っていくことを強く勧める。
- コモンルームでタイの学生とタイ映画を見ていたのですが…ホラーでした。途中で逃げました。怖かったです。そんな感じでタイの学生さんと一緒に交流を持つことできる部屋があってよかったです。シャワーがちょっとぬるかったり水だったり寒かったです。最初トイレの使い方が分からなくてティッシュ流していたんですけど駄目だったんですね。
- タイでの生活はあらゆることが初めての体験で、毎日に新しい発見があり、とても楽しいものだった。寮での生活も毎日部屋の清掃、ベッドメイキング、バスタオル等の交換、と何故ただの一学生である自分たちにこんな待遇をしてくれるのかと疑問に思えるほど快適なものだった。寮の中にコモンルームという共有スペースもあって、眠くない人は毎日そこで談笑するのが日課のようにになっていた。笑
- 本当にタイの学生にお世話になりました。少しお世話になりすぎたと思うくらい手厚く面倒を見てくださって、快適に過ごすことが出来ました。寮に関しては、停電やトイレのつまり等のアクシデントはありましたが、ベッドも寝心地がよく、タオルも毎日支給されて、非常に快適に過ごすことが出来ました。警備員の方も毎日笑顔で挨拶をしてくださり、私たちの中でも癒しの存在でした。
- タイでの生活は、いつもタイの学生がサポートしてくれて何も困ったことはありませんでした。また、寮での生活も警備の方々が24時間体制で見守ってくださり、2週間安心して生活できました。
- タイにおける雨季の気温は日本の夏と大差なかったので特に気候によって体調を崩す事はなかった。毎日降る雨についてもきちんと対策しておけば（傘を持ち歩けば）濡れる事はあっても大きな問題はない。タイの料理は非常に美味しかった。選べば慣れた味のものが食べられるし、タイ料理の味にも次第に慣れてきている事を実感できた。寮生活については、各部屋の他にコモン・ルームがあったのは大変良かった。毎日掃除をしてもらい、水の提供も十分にしてもらったので非常に快適であった。しかし、たまに部屋のコンセントに全く電気が通らない日もあった（電灯は点く）。その日はお湯も出なかった。
- 寮での生活は、たまに停電してしまうことを除けば、思った以上に快適だった。気候についても、雨季だったこともあり、福岡と同じくらいの暑さで、朝晩は涼しく、すごしやすかった。食事も基本的には全ておいしく、とても快適な二週間だった。
- 朝八時の国王の歌から始まるタイの生活はゆったりしていて、日本と流れが違うように感じた。寮は快適で、気まぐれではあったがほぼ毎日タオルを変えてくれ、別途メイキングまでしてもらっていてホテルのようだった。鍵もヤームさんが預かってくれるので、課外活動に行っている間の貴重品管理も心配しなくてよかった。
- 寮での待遇が非常に良く、驚いた。タイではトイレの横に小さなシャワーがついており、それで洗い流すのだということを初めて知った。ティッシュを流してしまい、トイレを詰まらせてしまったのが申し訳なかった。おなかを壊すかもしれないと予想し

ていたが、そのようなこともなく、健康的に過ごすことができた。

- とても清潔で快適な寮での生活でした。毎日ベットメイキングがしてあり、一階では警備員の方の警備があり、Wifi も通じていたので安心して毎日を過ごせました。この安心感は大学の寮に泊まったからこそ得られたものだと思います。ありがたいです。またタイでの生活は寮を中心にありましたのももちろん快適なものでした。食堂での食事で十分でしたし、FridayMarket や大学周辺の屋台でいつもとは違ってタイの人々の日常の雰囲気を味わうこともできましたのでとても満足しております。
- 私たちの理解不足が招いたことかもしれないが、最終日には共用の5個中4個のトイレを詰まらせてしまい、本当に困った。しかし、それ以外に関しては素晴らしかった。大学の寮であそこまで快適な環境で過ごすことができるとは思っていなかったのが本当にありがたかった。
- トイレが詰まることが何度かあったが、共同のトイレをなるべく使ったので特に不自由はなかった。毎日シャワーのお湯は使えたし、ベッドメイキングはされていたし、タオルは最低二日に一回は新しいものに変っていたのでホテルに泊まっているくらい快適な生活を送ることができた。

■ 語学研修の実施時期・期間

評価	5	4	3	2	1
回答数	6	6	3		

<感想>

- 行くとすれば、授業のない夏休み、もしくは春休みしかないなので、この時期に行うのは非常に適切だと思う。しかし、マヒドン大学はまだテストが終わっていないというところもあったので、そうした部分も調整できればなおよいと思いました。
- 実施時期、期間とも申し分ないと思った。
- 最初は2週間はちょうどよい長さだろうと考えていたが、終わるころになるととても短く感じた。英語もタイ語も、ちょうど上手くなってきてこれからさらにステップアップできるのではないかと、というときに終わりが来てしまった感じなので、語学を習得することにおもきをおくのであればもうちょっと長くてもいいのかなとも思った。
- 夏休みという学校の授業に支障のない時期に実施され、長い夏休みを充実させることができる点で適していると思う。また、2週間は短すぎず、長すぎずちょうどいい期間だと思う。2週間ではタイを知り尽くすことはできないが、だからこそ今後もタイについて学びたい・また行きたいと思えた。
- タイが雨季だったので福岡の夏とほとんど変わらない気候でよかったです。期間は、二週間は短いと思いました。やっとなタイ米に慣れたかな？と思うくらいの長さでした。
- 時期的には一番適当な時期に開催されたのではないかと思う。夏休みが始まって暫くしてからだと怠惰な生活が身についてしまっていて、途中で体調を崩す人やサボりだす人が出てくる危険性があると思う。期間に関しても適当だったと感じる。個人的にはもう少し長く滞在したかったが、体力的な面や、日本での予定等を考慮しても、2週間前後という期間がベストのように思われる。
- 雨期ということを知っていたので、雨ばかりになると思っていたところ、昼間に雨が降るような日はほとんどなく、スクールだけという状況でしたので、過ごしやすかったです。期間に関しては、前にも書きましたが、もう一週間くらいあるとタイ語の実践的な利用も可能になってくるのではないかというのが個人的な思いです。ただ、少ないという感じはしませんでした。二週間でも満足の出来るプログラムでした。

- ・ 本研修の実施時期は、暑い日もありましたが概ね過ごしやすかったです。研修の期間中、タイの学生は通常通り学校の授業があっていたので私たちのお世話と学校の課題などで忙しそうでした。また、2週間という期間で学ぶことはたくさんありましたが、もう少し長かったらよかったかなと思いました。
- ・ 良い時期だったと思う。盆明けすぐで無駄な時間をつくる事もなかったし、MU 教養学部の学生のテスト期間とも被らなかったのも、実に多くの時間を私たちと一緒に過ごしてもらった。しかし、この時期に大きな祭りやイベントがなかったのは残念である。期間については、2週間ではタイ語の入門以上の段階までいくのは難しいと思った。タイ語でプレゼンするにはもう1週間は必要だと思う。それか、フィールド・トリップを1・2回減らして1日に2回授業をする日を1・2回設けるべきだ。
- ・ 値段なども考慮すると、二週間が最適だと思う。ただ、せっかくなら、もう少し高くなっても、三週間くらいはいたほうが、もっと様々な事が学べたように思う。
- ・ 夏休みになってすぐに箱崎での集中講義が行われたが、オープンキャンパスの関係でタイ語の予習をあまりすることができなかった。また、間にお盆を挟んだため準備もバタバタしてしまったので、実施時期はお盆を過ぎてからまず箱崎で1週間語学をやって、1週間おいてからタイに行くというプランがいいのではないかと思った。
- ・ もう少し詳しいところまで勉強したいと感じたので、1ヶ月の研修でもよいと感じた。
- ・ この時期の実施は悪くはないと思います。気候的にも日本人が慣れているものであったし、タイの学生が長期休暇に入っていなかったのも、学生の日常を過ごすいい機会でした。ただ、タイの文化を知るには二週間はあまりにも短いものでした。できるのであればまだまだタイに滞在したい、後ろ髪をひかれる思いで帰国するほどでした。また、言語の習得ももう少し長い期間ですると可能なのではと思いました。ただ、タイにあまり興味のない学生にしてみれば言語の習得に2週間以上は苦痛なものであるはずなので、その点では2週間はいい期間であったと思います。
- ・ 少し遅らせてもいいのではないかと思った。もしも、前期の授業で少し単位を落としていたりなどしていた人がいたら、再試験などを受けなければいけないような場合に時間が被ってしまうという恐れがあるためだ。
- ・ 二週間では正直身につかないと思っていたけれど、授業で習った表現を午後の study tour などでのタイ人の友達との会話の中で使ってみたり、日本人同士で使ってみたりすることで簡単な表現は結構身についた。タイでの生活が楽しすぎて三週間くらいあってもいいとは思ったが、語学研修自体は二週間でも十分に多くのことを学べたと思う。

■ 集中講義を受講した上で語学研修に参加したこと

評価	5	4	3	2	1
回答数	13	2			

<感想>

- ・ あらかじめ、一通りの会話ができているので、最初のコミュニケーションのつかみは、ばっちりだったと思います。ただ、事前の講義があり、語学研修があるのに、その後の学び続ける機会が用意されていないのが少しもったいないと思います。
- ・ 何も知らないまま異国に飛び立つのも一つの経験になるが、やはり事前にある程度の水準まで語学、文化を理解しておいた方が現地研修での効率化を図れるのでこの集中講義は非常に意味があるものだと思う。
- ・ 事前に日本で講義を受けていて、まったく知識がないよりは少しでも知識がある状態

で現地に行けたのは良かったと思う。だからといってタイ語で話せる状態で行けるとまではならなかったが、それでも基本的な挨拶、自己紹介などはできたので、そこはタイの人たちも喜んでくれていたと思う。

- タイについて・タイ語の基本的な文法を理解した上で現地研修に臨んだため、集中講義で学んだことを現地で生かすことができた。
- おそらく、集中講義なしでは全く勉強せずに行っていたと思うので、講義があった良かったです。
- これも現地で生活を送る上でとても重要なポイントになったと思う。言語については勿論、タイの文化や生活に関する知識もこの集中講義で得られた。なので、現地での生活で多くの新しい発見や体験をする際に、驚くことはあっても戸惑ったり、困ったりすることはほとんどなかったように思われる。また、最初にタイ語で自己紹介をしたり、簡単な会話を理解できたりしたら、向こうの学生が喜んでくれて、それが現地で学習する際の心のバネとなった。
- 必要不可欠だったと思います。自分は家の都合により集中講義の最後の二日二酸化できなかつたのですが、その二日で習ったことを現地で使っているひともいました。また、現地に行った十五人と仲良くなる助走期間としての働きもありました。ただ、現地で使える実用的な英語の暗記等も前半でさせてもらえれば、現地でよりタイ語を使えたのではないかとも思います。
- 集中講義では、タイ語の基本となる発音、あいさつなど一通りを学べました。集中講義を受講してから語学研修に参加したことで、タイに到着してすぐに会うタイの方々にあいさつ、自己紹介ができたのですごく良かったと思いました。
- 集中講義で基本的な自己紹介が出来るようになっていたので、マヒドンのチューターと対面した時にタイ語で自己紹介する事で、打ち解けやすくなったと思う。それに加え、タイ人の講師による授業だったため、タイ本国へ行く前にタイの文化や慣習について聞く事が出来たのは大変良かったと思う。また、もし集中講義がなく、2週間の授業だけであつたら不十分であつたと思う。
- ある程度のタイ語を話せることで、現地の学生と早くうちとける事ができたので、先に集中講義は有るべきだと思う。また、集中講義で、タイの文化などについて学んでいたことも、タイでの生活になじむ助けとなった。
- これは満足だ。タイ語やタイの文化についてちょっと知識を持ってからタイに行くのとそうでないのは全く違うと思う。私はある程度の単語は知っていたので、+αとして自分で勉強していくべきだったと思う。タイについてのプレゼンテーションも、タイの概要をなんとなくつかめたと思うので来年も実施してほしい。
- 日本での集中講義のおかげで、現地での語学研修にスムーズに入ることができよかった。
- 集中講義を受けたことでタイについてすぐにタイ語で自己紹介をすることができました。タイの人にしてみても、タイ語を全く話すことのできない人たちを受け入れるよりは、少しでも自国に興味があり言葉が喋ることのできる人をうけいれる方が気持ちがいいと思います。私たちにとっても相手の言語がわかることで距離を縮めることができます。また、集中講義で事前に参加者と関係を築くことでタイでの生活をよりスムーズに過ごすことができました。集中講義はプログラムに参加するうえで必須条件であると改めて思います。
- 授業の際には、ただタイ語の授業をして下さるだけでなく、ローイクラトンというお祭りで使用する灯籠を授業の参加者全員で作ったり、タイに関するプレゼンをお互いに発表することにより、事前に理解が深まったので本当によい授業だった。
- 一週間日本でテキストを一冊学んでからタイで授業を受けたが、やはり事前に日本で習ったことがとても役に立ったし、タイでいきなり一からタイ語を学ぶのは正直厳し

いと思うので、日本で先に集中講義を受けておいて良かったと思う。

■その他

(日常生活や研修に参加して考えたこと、改善事項や要望事項など)

- ・ 15人という人数でも、まとまった行動をするのがとても難しかったです。こうしたプログラムを行なううえで、どうすればより良い団体行動ができるのか考えなくてはならないなと思いました。
- ・ タイ語の学習を現地で終わらせるのではなく、それを形として残しておくためにも帰国してから全員でタイ語検定を受けてみるのもいいのではないかと思います。今のところ福岡会場はないので団体受験で申し込んでみるのもありではないかと。
- ・ 英語の力をもっと磨かねばならないと思った。行く前は、チューターの方は日本語もわかるんだと思っていたが、実際はほとんど日本語がわからなかった。よってタイの人とのコミュニケーションはほぼすべて英語でしなければならなかった。もっと前から英語のリスニングとスピーキングの力を養っておけばよかったと思ったが、それを気付かせてくれただけでこの研修に価値はあると思う。それに、最初はほとんど聞き取れず、しゃべれなかった英語も、2週間めげずにタイの人たちと英語で交流するうちにだんだんわかるようになっていった。これにはわたし自身すごく驚いたし、とてもうれしかった。タイの人たちはとても優しいので、こちらが下手な英語をしゃべっても一生懸命理解しようとしてくれる。なので、怖気づかず、お互いが分かり合えるまでとことん挑戦することが大切だなと思った。
- ・ 私が今まで参加してきた海外派遣プログラムは、日本人の引率や責任者の方がずっといらっしやっただが、今回はそうではなく、学生の自主性に任せられているなどというのを強く感じ、その分責任感を持って活動できた。

要望としては、現地研修中、日本で何かあった際に親が連絡するための緊急連絡先をしおりなどに記載してもらえると助かった。

- ・ タイの行って一番びっくりしたのが、子供連れや手足にけがした物乞いの人たちがいっぱいいたことです。さとみちゃんから「手がないように見えてホントはある人もいるので気を付けてください」って言われてまた驚きました。研修前のオリエンテーションをもっと早めにしてほしかったです。保険加入の時も伊都で保険内容など聞いてもパンフレットが届いてなかったりしていました。詳しい人が箱崎にいる（私は箱崎在住だったのでむしろ良かったのですが）ということなのに、保険加入期間が伊都の方が長いのは疑問に思いました。勘違いだったらすみません。
- ・ この研修に参加して本当に良かった！！これが今の自分の気持ちを率直に表した一言です。今回この研修に参加したことは、自分の今後の学生生活に大きな影響を与えるように思えます。今後の留学計画を進めることに確信を持たせてくれました。この経験を生かして、より充実した学生生活を送っていきたいと思います。
- ・ 英語やタイ語で現地の人と話せる素晴らしさを身を以て感じる事が出来ました。語学に対する今の自分の情熱を忘れずに勉強していきたいと思います。また、より長期のプログラムにも参加してみたいと思いました。
- ・ 研修に参加して、タイの歴史や文化に触れ、それについて説明してくれるタイの学生の姿を見て、私ももっと日本の歴史や文化について学ぼうと感化されました。また、現地でのコミュニケーションはほとんど英語だったので、もっと英語を勉強しこれから様々な国の方々と交流できるようになればいいなと思いました。
- ・ やはりアユタヤに行けなかったのは非常に残念でした。フリーデイがあったのはとて

もよかったと思います。タイの文化について、もう少ししっかり学びたくなりました。

- それほど支障はありませんでしたが、日本出国の日になっても評価の仕方が決まっていなかったことや、タイに到着後に与えられたタイ語でのプレゼンなど、事前情報の少なさや不明確さを改善する必要がある。
- 事前に電気のプラグの説明を徹底してくれていれば、そして海外のトイレと日本のトイレのパイプの違いの説明をしてほしかった。
- 基本毎晩のようにタイ人の友達がごはんや買い物、マッサージなどに連れて行ってくれたので夜もとても充実していた。しかしその分二週目は二つのプレゼンテーションの準備に追われたために、皆ほとんど寝不足で疲れがたまっていたと思う。テストとプレゼンテーションが同じ日にあったことと、二つのプレゼンテーションが一日おきにあったのは正直体力的にもきつかった。